

幹本申第12号「東北新幹線で発生した列車分離の 原因究明と対策を求める緊急申し入れ」

1. 2025年3月6日に発生した3021B列車Z+H編成の列車分離について、原因と対策を明らかにすること

組合	Z7編成に電気系統の異常があって調査しているということではないか
会社	テコの開閉動作が繰り返し起こっていることから、電気系統の不具合というように記者会見で述べた。電気系統だけに限定せずすべての原因は排除せず調査している。
組合	Z7編成については12月30日に分割不具合を起こした車両と認識しているがどうか。
会社	そうだ。
組合	その事象の後取り替えたのが、9月に列車分離を起こしたZ12編成から取り下ろした分併制御盤と報告書(2025年1月27日)にあるがそれでよいのか。
会社	運輸安全委員会の調査対象のため回答できない。
組合	12月30日の分割具具合ではプロコンの故障として取り替えを実施したが、プロコンの異常性を認めた根拠は何か。
会社	通常の調査を行い判断した。
組合	プロコンの状況を確認しZ7編成のプロコンを取り換えた。プロコンが正常だったとして12月、3月と連続してZ7編成が立て続けに分併不具合が発生したとすると車両に問題はないのか。
会社	運輸安全委員会の調査対象のため回答できない。
組合	メーカー推奨は8年と聞いているが、E6系が投入されて8年以上経過していることの問題はないのか？
会社	メンテナンスと機能確認をしているから問題ないと考えている。
組合	9月に列車分離したZ12編成の分併制御盤を今回分離したZ7編成に搭載しているの、これが原因があるのではないかと推定している。
会社	運輸安全委員会の調査対象のため回答できない。
組合	対策として、プロコン以降の回路にNFBもしくは速度制限を設ける、また、プロコンの全数取替、配線確認をするべきだ。
会社	原因究明を進め、必要な対策を講じてゆく。